

生成 AI 利活用ガイドライン（学生用 ver. 1.0）

令和 5 年 9 月
名古屋市立大学

このガイドラインは、本学学生が ChatGPT や Stable Diffusion、Bing AI Chat (Bing Copilot) などの生成 AI を使用する際に注意すべきことをまとめたものです。責任ある倫理的な使用を保証する一方、AI のクリエイティブな利用を促進することを目的としています。

【アカデミック・インテグリティ（学術的誠実性）】

アカデミック・インテグリティとは、研究成果を生み出して公表する際に、倫理に即して研究を行い、正確な引用を心がけ、教育機関が定めたガイドラインを、責任をもって遵守することである。その重要性を理解し、アカデミアに対する高い期待を維持すること。AI が生成したコンテンツ*を不正に使用すると、倫理や誠実さに関する問題や処分を含む厳しい結果につながる可能性を自覚すること。

例) AI が生成したコンテンツは、AI を使用したことを必ず明記する。

* コンテンツ：テキストや画像、動画、アプリなどの情報内容。情報のデジタル化が進み、ソーシャルメディアやスマホゲームなどのモバイル「コンテンツ」、電子書籍やストリーミング配信される映画や音楽などのデジタル「コンテンツ」、サイトや記事、サービスなどの Web 「コンテンツ」に区分される。

【生成 AI 利用の可否】

生成 AI 利活用の可否は、本ガイドラインに沿って判断すること。AI が生成したコンテンツの授業における使用については、教員からの指示を仰ぐこと。

例) AI との対話ログを参考資料として提出し、かつ自説を展開することを求める授業課題に取り組む。

【秘匿性の高い情報保護】

AI のパフォーマンスを改善するために、AI サービス提供者は利用者が入力した情報を記録・再利用する場合がある。このことを踏まえて、AI 生成コンテンツの利用にあたっては、個人情報や秘密情報、機密情報などいわゆる「秘匿性の高い情報」の漏洩防止策を講じること。例えば、個人情報の安全性を確保するために、個人情報を入力しないこと。

例) 入力情報を学習データとして使用させない方法である「オプトアウト」が利用可能でも、そもそも個人情報は入力しない。

【著作権侵害の防止】

AI 生成したコンテンツが既存の著作物と類似している場合、生成コンテンツの利用が著作権侵害になる可能性がある。AI コンテンツの公開にあたっては、法的リスクにつながる著作権侵害の危険性を理解すること。

例) 授業や研究等で、AI 生成コンテンツを一般公開する場合は本ガイドラインに従う。

【AI 生成コンテンツの正確性の確認】

AI が生成したコンテンツの事実関係の正確さについては、誤りが生じる可能性があるため、慎重に判断すること。他の信頼できる情報源と照らし合わせ、AI が生成したコンテンツの正確性を確認すること。

例) 生成されたコンテンツは、複数の文献や検索エンジンに基づく情報によって裏づけをとる。

また以下に、生成 AI を利活用する時の基本的な考え方を挙げます。

AI が生成したコンテンツは、批判的思考や創造性の代わりとしてではなく、学習を補完するものとして使用すること。AI を活用する場合でも、常に主体的な思考と問題解決に取り組むこと。

例) 生成 AI は確率的にもっともらしいコンテンツを生成しており、生成されたコンテンツの論理的、倫理的な正しさは保証されていない。そのため、コンテンツの信憑性は人間が確認する必要がある。たとえば現場に赴いて取材する、あるいは問題が当事者間で正しく定義されているかを自分でまずは考える。

AI が生成したコンテンツは、人間との対話を代替することはできないことを認識すること。質問をしたり、説明を求めたり、仲間や教員との議論に積極的に参加することで、主体性を発揮すること。

例) 授業等でディスカッションを行うときには、自説をわかりやすく伝え、他者の説明には適切にリアクションをする。また、その役割を交代する過程を通じて、理解を深めるよう努める。

テクノロジーに過度に依存しないようにすること。自ら考え、問題解決に取り組むことで、自身の知識やスキルを向上させること。

例) 主張と根拠を自分で考えたのちに、その当否について AI と対話して検証することは避ける。AI との対話は参考にとどめ、自身の知識やスキルに加えるべきものの有無は自ら確認する。

エッセイやアートプロジェクト（共創的芸術活動）など、独創性や創造性が求められる課題で

は、AI との協働による時短効果や人間の独創性に留意すること。

例) 文章生成・要約、文章校正・構造化、情報検索、翻訳だけではなく、「アイデアの壁打ち」や「コーディング*」にも活用する。

* コーディング：プログラミング言語を使ってプログラミングコードを記述していく作業

本学では、AI の創造的活用が大学教育を発展させていくことにも留意し、生成 AI に関する多様かつ有効な活用について引き続き検討を続けています。このガイドラインは、随時改訂する予定です。必ず最新版を参照してください。なお、文部科学省通知に沿って、生成 AI という表記を採用しています。